

第12回東北少年少女空手道選手権大会実施要項

(公財) 全日本空手道連盟東北地区協議会

- 1 大会名 第12回東北少年少女空手道選手権大会
 2 主催 (公財) 全日本空手道連盟東北地区協議会
 3 主管 岩手県空手道連盟
 4 後援 (公財) 全日本空手道連盟
 5 会場 岩手県営武道館
 〒020-0122 岩手県盛岡市みたけ 3-24-1
 TEL 019-641-4577 FAX 019-641-4559

6 大会日程

令和6年7月20日(土) 小学1年生～4年生(男女形・組手)

8:00	開館・受付
8:30	審判会議
8:50	開会式
9:20	競技開始(男女形・組手)
	表彰(随時)
17:00	競技終了

令和6年7月21日(日) 小学5年生～6年生(男女形・組手)

8:00	開館・受付
8:30	審判会議
8:50	開会式
9:20	競技開始(男女形・組手)
	表彰(随時)
13:30	競技終了

6 種目 小学生1～6年生男子・女子の組手及び形競技各個人戦(人数制限なし)

7 参加種目 同一選手が形と組手の両種目に重複し出場しても良い。

種目	形競技			組手競技		
選手	男子	1年～6年		男子	1年～6年	
	女子	1年～6年		女子	1年～6年	
監督	監督 1名(11名以上参加の支部は2名)					

- 8 競技規定
- (1) 競技は、公益財団法人全日本空手道連盟<空手競技規定>により行う。
競技規定改訂(2024年4月1日)採用
 - (2) 形競技個人戦
 - (ア) トーナメント方式で2名同時に行うが、決勝戦に限り1名ずつで各コートにて学年別男女別に競技する。3位決定戦は行わない。
 - (イ) 勝敗は審判員5名の赤・青旗の多数決により決定する。

- (ウ) 1回戦からベスト8までは、全空連基本形(ゲキサイ第1、ゲキサイ第2、平安、又はピンアン初段～五段)の中から選択することとし、同じ形を繰り返し演武することができる。
- (エ) 準決勝以上は、全空連第1指定形、第2指定形、又は上記(ウ)の形でまだ競技で演武していない形から選択することとし、同じ形を繰り返し演武することができる。
- (3) 組手競技個人戦
 - (ア) トーナメント方式で行い、3位決定戦は行わない。
 - (イ) 競技時間は1分30秒フルタイムとする。但し、参加人数と競技日程の関係で変更(短縮)せざるを得ない場合も想定されるので、その際は審判長から通告する。
 - (ウ) 勝敗は、競技時間内に6ポイント差が生じた場合、あるいは反則・棄権・失格、又は競技終了時に得点の多い選手を、同点の場合は「先取」のある選手を勝ちとする。競技終了時に同点で先取のない場合は、1本の多い選手を、それでも同数の場合は技ありの多い選手を勝ちとする。それでも決しない場合個人戦においては、副審の4名と主審の個々の判断に基づき、判定により勝敗を決定する。
- (4) 安全具
 - (ア) 組手全種目に全空連検定品である小学生用拳サポーター(赤・青リバーシブル)、メンホーNo.6かNo.7、~~メンホー用マウスシールド~~(ミズホ製)ボディプロテクター、小学生用インステップガードとシンガードを着装すること。なお、これらの安全具は選手各自において用意すること。
※高体連用インステップガード新製品(全空連マークと高体連マークの両方が入っている2022年新製品)は使用可能とする。
 - (イ) 小学3～6年生男子選手は必ずセーフティカップを着装する。
1、2年生は所属の指導者(監督・コーチ)の判断に委ねる。
 - (ウ) 安全具着装のない選手は出場できないので、十分注意すること。
- (5) 服装
 - (ア) 監督・選手は、競技規定に沿った清潔な白の空手衣を着用する。
 - (イ) 金属やプラスチックなどのヘアバンドやヘアピンの他、競技の安全を欠くと思われる物品の装着は禁止する。
 - (ウ) 選手は、青帯・赤帯を各自用意し着用する。主催者側では準備しない。
 - (エ) 選手の胸マークは学校名・県名・道場名であること。又、胸マークが無くても良い。袖の表示等は原則として規制しない。
道衣メーカーのロゴマークは右胸だけは認める。(監督も同様)

9 表彰

- (1) 優勝者、準優勝者、第3位(2名)まで副賞を添えて賞状を授与し、第5位入賞者には賞状を授与する。
- (2) 入賞者の表彰は、競技の終了した種目から順次行う。
- (3) 表彰に際して受領しなかった場合、入賞者に対する賞状等の送付は行わない。
- (4) 各学年種別上位入賞者4名を東北地区強化指定選手として認定

10 審判員

- (1) 大会審判団は、「全空連」公認審判員をもって次により編成する。また、推薦審判員は(定年制65歳以下)とする。
- (2) 主管県を除く各県は、公認全国・地区・県組手審判員6名を選び、7月5日(金)まで大会事務局経由で大会委員長宛て文書をもって推薦する。
- (3) 主管県は(2)に記載する人数にかかわらず、大会委員長と協議し、その指示により運営上必要な人数を推薦する。
- (4) 大会委員長は、各県から推薦され適当と認められたた審判員をもって、大

会審判員を委嘱する。

(注意) 各県派遣審判員が5名以下の場合、地区組手審判員資格者で65歳以下の監督は認められません。

- 11 安全対策 (1) 選手は、本大会前1週間以内に、各自において健康診断を受け、医師の出場許可を得ておくこと。
(2) 参加選手は各自で、又は団体でスポーツ傷害保険等に加入をしておくこと。大会実行委員会では、傷害保険等への一括加入は行わない。
(3) 出場選手が競技中負傷した場合は、主催者において応急処置は施すが、それ以上の責任は負わないのでご了解ください。
(4) 監督、及び選手は、健康保険証を携行すること。
- 12 出場資格 (1) 選手は、「全空連」の会員登録者で、公認段位及び公認級位取得者であること。
(2) 監督は全空連会員登録者・公認段位取得済であらかじめ届出があった者とする。(20歳未満の監督は認めない)
監督は腕に監督の腕章を付けること。
*監督は空手道衣を着用する。ウェストポーチなどの携帯は厳禁です。
- 13 組合せ抽選 (1) 実行委員会において厳正に行う。
- 14 出場申込 (1) 選手は、出場費として一種目3,000円を納入しなければならない。
(2) 別途定める出場申込書を提出すること(原則として、選手名簿等はエクセルファイルで作成したデータも併せてメール等で提出すること)。
(3) 申込書の送付及び出場費送金先(口座)は次のとおり
(4) 県連事務局が取り纏め一括申込み。
*個人での申込みは受付しません

15 申込期限

16 宿泊等・弁当 各県連・各道場・学校で対応願います。

- 17 その他 (1) 出場申込書提出後の選手変更は認めない。
(2) 各コートの受付時間に間に合わない場合は、参加できないので注意すること。
(3) 参加各県は必ず引率責任者を配置し、出場選手の掌握、荷物の管理等に当たらせ、円滑な大会運営と事故防止に協力してください。

第12回東北少年少女空手道選手権大会参加選手

東北 VS 北海道 定期対抗戦 について

東北地区協議会

本大会に於いて、5年生・6年生組手競技の男女それぞれ決勝進出者二名は、8/31(土)～9/1(日)に北海道千歳市で開催されます『令和6年度 東北 VS 北海道定期対抗戦』団体組手競技の東北地区代表選手として参加資格がありますが飛行機予約等の手配が有りますので、既に他行事等で予定が入っており参加不可能な選手は、表彰式終了後まで速やかに大会事務局までお申し出ください。